

めんえき 免疫チェックポイント阻害薬による治療を受けられる方へ

免疫チェックポイント阻害薬※による副作用は、症状の種類や起こる時期もさまざまです。なかには重篤な副作用もあり、早期発見・早期対応が重要になります。以下の症状が認められる場合には、すみやかに受診してください。

※当院採用の免疫チェックポイント阻害薬：オプジーボ、キイトルーダ、テセントリク、イミフィンジ、ヤーボイ、アベルマブ

- 38度以上の発熱がある
- 咳や息切れ、息苦しさがある
- 下痢や腹痛、血便が認められる
- ひどいだるさを感じる、動けないほどのだるさがある
- 手・足に力がはいらない、のみこみにくい
- ものが二重に見える
- 頭痛、胸が苦しい・痛い、筋肉痛がある
- のどが渇く、尿がたくさん出る
- 口、手・足、体に発疹、粘膜のただれ、水ぶくれがあらわれた
- その他 よくわからないが、なんだか調子が悪い

<平日の場合>

※可能な限り、平日、日中の対応をおすすめします

□ 8:30～17:00 は各診療科外来へお問い合わせ、ご相談下さい

□ 電話で伝えることは

『お名前、主治医、免疫チェックポイント阻害薬（または薬剤名）を使用していること、気になる症状（いつから、どのように、どれくらい）』

☎病院 011-681-8111

☎クリニック 011-685-3888

電話相談は、各診療科 月曜日～金曜日 8:30～17:00

外来受付時間は（原則） 平日 8:30～11:30

<夜間・土日・祝日の場合>

□ 直接、ご来院下さい。まずは救急外来（365日、24時間体制）が対応致します

□ 救急車要請をせざるを得ない場合には、救急隊員に「免疫チェックポイント阻害剤を使用していること、症状があるときには手稲溪仁会病院を受診するように言われていた」ことを伝えて下さい